

エネルギーメディア変換材料研究室

卒業生のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。

2026年度は能村貴宏教授のもと、特任助教2名、博士研究員1名、学術研究員・技術補助員6名、秘書1名、そして博士課程3名、修士課程4名、学部4年生3名、研究生1名（うちインドネシアから4名、マレーシア、ナイジェリア、中国から各1名）と、非常に賑やかでダイバーシティに富んだメンバーで活動しています。特に今年度は元気で活動的な3名の学部生が配属され、研究室内の活気が一段と増しています。

研究面では、蓄熱材MEPCMの応用研究が一段と加速しています。これまでの実験室レベルから、百kg単位での製造や大型試験装置を用いた大規模な実験が可能となり、社会実装を見据えたダイナミックな研究が展開されています。このほか、製鉄プロセスや酸素貯蔵材料に関する研究も継続し、着実に進展しております。2025年度も、多方面から多くの共同研究やプロジェクトを推進いたしました。学生も、これら共同研究への参画や国際学会での発表に積極的に挑戦しており、楽しく研究生活を送っております。

昨年度はイベント面も充実した一年でした。学生間の仲が非常に良く、定番のジンパを筆頭に、たこパや鍋パ等が定期的に関開かれ、さらにハイキングや研究室旅行、果物狩りなど、遠出のイベントも多く開催されました。また、専攻公式行事の野球大会では、2024年2位、2025年3位と近年健闘しています。しかしあと一歩のところまで優勝を逃しており、今年こそは悲願の優勝をもぎ取るべく、研究室一丸となって盛り上がっています。

最後になりますが、札幌にお越しの際にはぜひ研究室に遊びに来てください。教職員・学生一同、楽しみにお待ちしております。諸先輩方の増々のご活躍をお祈り申し上げます。

研究室 HP: <https://www.eng.hokudai.ac.jp/labo/exergy/>

